

平成 27年度

事業報告書



社会福祉法人 広寿会

平成 27 年度
社会福祉法人広寿会 事業報告書
目次

1. 法人部門.....	3
【運営理念】	3
【基本方針】	3
〈ひろた職員心得〉	3
【平成 27 年度目標の評価】	4
〔1〕 法人の概要	4
〔2〕 役員の状況	5
〔3〕 平成 27 年度理事会開催状況.....	5
〔4〕 平成 27 年度評議員会開催状況.....	6
〔5〕 職員の状況	7
〔6〕 運営組織図	8
2. 施設部門.....	9
【平成 27 年度目標の評価】	9
〔1〕 施設部門の状況.....	9
(1) 施設の種類	9
(2) 運営状況（利用状況）	10
(3) 入居者の状況.....	10
〔2〕 事業内容.....	12
(1) ユニットの状況	12
(2) 行事報告	13
〔3〕 委員会	15
(1) リーダー会	15
(2) サブリーダー会	16
(3) 介護力向上委員会	16
(4) ユニット会議.....	17
(5) 事故防止委員会	18
(6) 身体拘束廃止委員会	19
(7) 褥瘡予防委員会	19
(8) 感染予防対策委員会	20
(9) 医療安全管理委員会	20
(10) 苦情検討委員会	21
〔4〕 その他の会議	22
(1) 利用者相談会「いどばた会議」	22
(2) 家族の会	22

3. 在 宅 部 門.....	23
〔1〕 指定居宅介護支援事業所ひろた	23
【平成 27 年度目標の評価】	23
(1) 運営状況	24
(2) 事業内容	24
(3) 苦情受付	25
(4) 地域連絡会	25
〔2〕 たちばなの家じゃんけんぼん	25
【平成 27 年度目標の評価】	25
(1) 運営状況	26
(2) 事業内容	27
(3) 事故報告	29
(4) 避難訓練	30
(5) 苦情受付	30
(6) 在宅ケア委員会	30
〔3〕 砥部町デイサービスセンター（砥部町委託事業）	31
【平成 27 年度目標の評価】	31
(1) 運営状況	32
(2) 事業内容	33
(3) 事故報告	34
(4) 苦情受付	35
(5) 在宅ケア委員会	35
(6) 車両配備	36
(7) 砥部町地域支援事業（砥部町委託事業）	36
〔4〕 支援ハウス（砥部町委託事業）	38
(1) 運営状況	38
(2) 行事報告	38
4. 会 議 等.....	39
〔1〕 運営会	39
〔2〕 職員会	39
〔3〕 広報委員会	40
〔4〕 防災委員会	41
〔5〕 給食委員会	42
〔6〕 成長支援制度導入準備会議	45
5. 研 修 等.....	46
〔1〕 施設実習等受入状況	46
〔2〕 施設内研修	46

1. 法人部門

【運営理念】

「ノーマライゼーションの理念を大切に」

- 1 自立支援〈できるだけ自立した生活の支援〉
- 2 自己決定〈できるかぎり本人による選択・決定〉
- 3 権利擁護〈いつの場合も個人の権利を守る〉

【基本方針】

「一人ひとりの暮らしを支えるケア」を目指して

- 1 利用者一人ひとりをみつめ、最期まで尊厳ある生活の実現
- 2 利用者の人権、プライバシーの保護
- 3 在宅高齢者の生活支援、QOLの向上
- 4 保健・医療・福祉の連携を強め、地域の福祉ニーズに応える
- 5 研修及び自己啓発等により職員の資質向上を図る

〈ひろた職員心得〉

今日も一日

1. さわやかな挨拶を交わします

2. 明るい笑顔で接します

3. 思いやりのある言葉で接します

4. 愛と真心を持って介護します

これらを胸に

働ける幸せに感謝します

【平成 27 年度目標の評価】

(1) 利用者に笑顔で穏やかに暮らしていただけるよう、理念に基づいた個別ケアを行う

15 年間で 55 人を施設で見送った。どの方も穏やかなお顔だった。“ご遺体は通信簿”と聞いたことがあるが、まさにそのとおりだと感じる。誕生日にはケーキやおはぎをみんなで作り、♪ハッピーバースデーを歌ってささやかなお祝いをする。老いも若きも一緒になって、お餅をつき食べる。そんなちょっとした出来事を嬉しいと思ってもらえる日々をこれからも大切にしていきたい。そのためには、日常のケアが充実していなければならない。今後も根拠に基づいた個別ケアを追求していく。

(2) 地域住民、行政と連携し、平成 30 年度の小規模多機能居宅事業所の開設を目指す

残念ながら具体的な行動はできていない。29 年度に広田地区内小学校の統合が決まり、空き校舎の活用等行政への提案も含め、継続して検討していく。広田地区のような山間部において、一人暮らしの高齢者が安心して住み続けられるためには、複合的なサービス提供が必要不可欠であり、小規模多機能居宅事業所にこだわらず、地域のニーズに適した対応を検討したい。

(3) 明るく働きやすい職場を目指し、人事制度（成長支援制度）の構築を図っていく

介護業界の人材確保が一層難しくなってきた今こそ、職員がやりがいと成長意欲を持ち、伸び伸びと仕事ができる職場環境整備が重要であるとの認識から、1 年間かけて給与制度を含む職員の成長支援制度の構築に取り組んだ。全職員対象のアンケート調査や中間管理職員の意見聴取、そして、全職種の業務の拾い出し等の作業から組織の課題が見えてくる一方、その解決に向けた提案もあり、大きな成果を得ることができた。

法人にとって職員は大切な財産であり、職員一人一人の成長が、法人の成長に直結してくることは明らかである。職員の成長支援体制の整備、そして着実な実行に継続して取り組みたい。

(4) 安定した経営基盤を築くための収支の見直しを行う

介護報酬改定の影響は大きく、かなりの減収となった。26 年度からの課題であった、たちばなの家じゃんけんぼんの経営改善は計画どおりに進まず、一層厳しい状況となった。28 年度からは営業日を変更し、再チャレンジを行う。一方、特養は開設から 15 年が経過し、修繕や設備更新に多額の費用を要するようになり、近い将来には大規模改修も避けられない。中長期を見通し、一層の効率的な予算執行や経費削減に取り組んでいかなければならない。

〔1〕法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人 広寿会
2. 所在地 愛媛県伊予郡砥部町総津 405 番地
3. 法人の事業 ① 第 1 種社会福祉事業
特別養護老人ホームの経営

- ② 第2種社会福祉事業
 - (イ) 老人短期入所事業の経営
 - (ロ) 老人デイサービスセンターの経営
 - (ハ) 生活支援ハウスの経営
- ③ 公益事業
 - 居宅介護支援事業

〔2〕 役員の状況

1. 構成（平成28年3月31日現在）

理事	定数	6人（現員6人）
監事	定数	2人（現員2人）
評議員	定数	13人（現員13人）

〔3〕 平成27年度理事会開催状況

開催年月日 出席人数	報告及び議案	
平成27年 4月22日 （理事）6人 （監事）2人	議案	第1号 人事・賃金制度設計に係る委託契約について
平成27年 5月26日 （理事）6人 （監事）2人	報告	第1号 特養ひろた開園14周年記念感謝祭について 第2号 職員人事について
	議案	第2号 平成26年度事業報告の認定について 第3号 平成26年度決算報告の認定について
平成27年11月 2日 （理事）6人 （監事）2人	報告	第3号 職員人事について 第4号 砥部町デイサービスセンター送迎用車両の配備について 第5号 平成27年度事業所別稼働状況について
	議案	第4号 平成27年度第一次補正予算(案)の承認について 第5号 次期理事及び監事の委嘱について
平成27年11月15日 （理事）6人 （監事）2人	議案	第6号 理事長の互選等について 第7号 評議員の選任について
平成28年 2月26日 （理事）6人 （監事）1人	議案	第8号 給与規程の全部改正について
		第9号 介護保険請求・記録システムの購入契約について
		第10号 たちばなの家じゃんけんぼんの運営変更について
平成28年 3月23日 （理事）6人 （監事）0人	議案	第11号 評議員退任願に対する対応について

平成 28 年 3 月 30 日 (理事) 6 人 (監事) 2 人	報告	第 6 号 正規職員試験の実施結果について 第 7 号 職員の異動について 第 8 号 平成 27 年度事業所別稼働状況について
	議案	第 12 号 平成 27 年度第二次補正予算 (案) の承認について 第 13 号 規程 (規則) の一部改正および廃止について 第 14 号 平成 28 年度事業計画 (案) の承認について 第 15 号 平成 28 年度予算 (案) の承認について

〔 4 〕 平成 27 年度評議員会開催状況

開催年月日 出席人数	報告及び議案	
平成 27 年 5 月 26 日 (評議員) 12 人 (監事) 2 人	報告	第 1 号 人事・賃金制度設計に係る委託契約について 第 2 号 特養ひろた開園 14 周年記念感謝祭について 第 3 号 職員人事について
	議案	第 1 号 平成 26 年度事業報告の認定について 第 2 号 平成 26 年度決算報告の認定について
平成 27 年 11 月 2 日 (評議員) 12 人 (監事) 2 人	報告	第 4 号 職員人事について 第 5 号 砥部町デイサービスセンター送迎用車両の配備について 第 6 号 平成 27 年度事業所別稼働状況について
	議案	第 3 号 平成 27 年度第一次補正予算 (案) の承認について 第 4 号 次期理事及び監事の選任について
平成 27 年 11 月 27 日 (評議員) 12 人 (監事) 2 人	報告	第 7 号 理事長の互選等について
		第 8 号 平成 27 年度第一次補正予算について
		第 9 号 給与規程等の見直し作業について
平成 28 年 2 月 26 日 (評議員) 9 人 (監事) 1 人	議案	第 5 号 給与規程の全部改正について
		第 6 号 介護保険請求・記録システムの購入契約について
		第 7 号 たちばなの家じゃんけんぼんの運営変更について
平成 28 年 3 月 30 日 (評議員) 9 人 (監事) 2 人	報告	第 10 号 評議員の交代について 第 11 号 正規職員試験の実施結果について 第 12 号 職員の異動について 第 13 号 平成 27 年度事業所別稼働状況について
	議案	第 8 号 平成 27 年度第二次補正予算 (案) の承認について 第 9 号 規程 (規則) の一部改正および廃止について 第 10 号 平成 28 年度事業計画 (案) の承認について 第 11 号 平成 28 年度予算 (案) の承認について

〔5〕 職員の状況

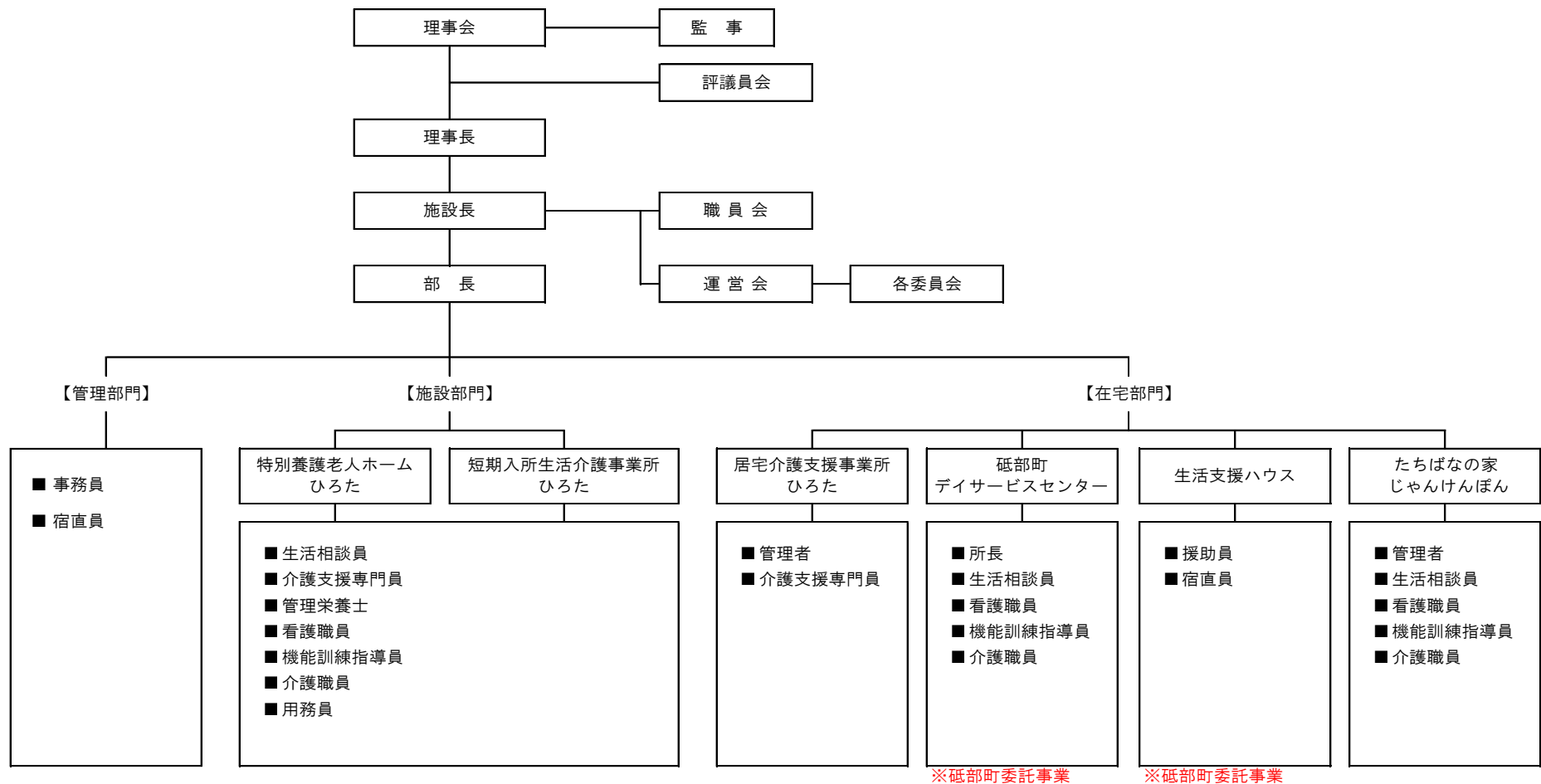
職種	人 数		
	施設部門 (特養・短期入所・居宅)	福祉センター部門 (砥部デイ・支援ハウス)	立花部門 (たちばなの家じゃんけんぼん)
施設長	1		
部長	1		
デイサービス所長	—	《1》	—
通所事業所管理者	—	—	(1)
居宅事業所管理者	1	—	—
医 師	3	—	—
作業療法士	1	《1》	《1》
歯科衛生士	1	—	—
生活相談員	1	1	1 (1) 《1》
看護職員	3	2	1 (1)
介護職員	15 (1)	3 (1)	3 《1》
援助員	—	2	—
介護支援専門員	1	—	—
機能訓練指導員	(1)	(2)	1
管理栄養士	1	—	—
調理員 (委託)	—	—	—
事務員	2	1	—
宿直員 (委託)	4	1 《2》	—
用務員	4 (2)	—	—
計 (実人員)	39	10	6

※平成 28 年 3 月 31 日現在の拠点区分別職員配置状況

※ () 書きは同拠点区分内、《 》書きは拠点区分を超えての兼務

※施設長および部長はの実人数は、施設部門に計上

[6] 運営組織図



2. 施設部門

【平成 27 年度目標の評価】

(1) 穏やかで笑顔のある暮らし、喜びを感じられる毎日

27 年度は、6 人の看取りを行った。繰り返しカンファレンスを重ね、家族ともその都度相談を行い、その人らしい看取りを行うことができた。事故については、26 年度に比べると重大事故の件数は減少したものの、総数は増加した。なかでも配薬ミス等医療事故の件数が増加しており、看護と介護で対応策を講じてきたが、さらなる検討が必要な状況である。

感染予防については、職員研修等を通して日頃より周知徹底した結果、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症発生者ゼロを達成することができた。

恒例となった道後一泊旅行では、「家族と一緒に宿泊できて、いい思い出になった」と喜んでいただいた。

食に関しては、栄養士が中心となって、ユニットでの料理作りを行い、楽しい時間を過ごすことができた。28 年度はユニット職員が中心となって料理作りや外出の計画を立てていく。

(2) トータルケアの構築

ユニットリーダーの交代があった中、引き継ぎを行いながら定期的なダブルチェックを心掛けたが、目標に掲げていた週 1 回はできなかった。27 年度に多かった脳梗塞や消化器系疾患による入院も、ダブルチェックを通して利用者の変化をより敏感に察知することができていればいくらか防げたかもしれない、改めてその重要性を認識した。稼働率は、26 年度より入院日数が増加したことで、10%ほど低下した。

研修は、概ね計画どおりに行うことができた。職員が講師となることで自己の知識を高めることに加え、解りやすく伝える工夫をする等、双方にとって学びの機会になったと感じる。ただ、さらなる知識や技能の向上を目指した「介護の知識 54」研修については、十分に組み合わせたとは言えず、28 年度にその実施方法等を見直し、計画的に実行したい。

〔1〕施設部門の状況

(1) 施設の種類

①特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）	定員 30 人
②老人短期入所事業所（指定短期入所生活介護事業）	定員 4 人

(2) 運営状況 (利用状況)

【指定介護老人福祉施設】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
平均介護度	4.21	4.2	4.2	4.2	4.17	4.07	4.1	4.1	4.13	4.03	4.07	4.0	4.12
稼働率(%)	98.6	100	99.2	97.6	99.6	98.2	99.1	100	100	99.9	99.3	95.7	98.9

※ 26年度稼働率 99.8% (空床利用含)

【短期入所生活介護事業所】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
利用件数	14	17	16	16	16	14	13	14	14	13	15	14	14.7
稼働率(%)	125.9	131.4	135.8	125.8	122.6	119.2	119.4	120.8	127.4	116.1	122.4	119.4	123.9

※ 26年度稼働率 131.6%

※ 27年度全体(特養+短期)稼働率 101.8%

26年度全体(特養+短期)稼働率 103.5%

(3) 入居者の状況

【出身地別入所・退所状況】

市町/区分	保険者別入所者数			平成27年度中の異動状況					
				入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	6	16	22	0	5	5	1	4	5
内子町	2	4	6	1	1	2	0	2	2
伊予市	0	2	2	0	1	1	0	0	0
西予市	0	0	0	0	1	1	0	2	2
合 計	8	22	30	1	8	9	1	8	9

単位：人

【年齢区分別構成状況】

平成28年3月31日現在

年齢区分	男	女	計
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	1	1
75歳～79歳	1	0	1
80歳～84歳	2	6	8
85歳～89歳	3	9	12
90歳～94歳	2	0	2
95歳以上	0	6	6

単位：人

【平均年齢等】 平成 28 年 3 月 31 日現在

項目	男	女	全体
平均年齢	85.9	88.2	87.6
最高齢	93	104	
最年少	76	72	

単位：歳

【要介護度別人数】 平成 28 年 3 月 31 日現在

要介護度	1	2	3	4	5	計
男	0	0	3	3	2	8
女	1	1	5	3	12	22
計	1	1	8	6	14	30

単位：人

【通院状況】

科 別	内科	皮膚科	眼科	精神科	整形外科	脳外科	婦人科	歯科	外科
実人数	97	12	7	1	12	8	1	1	2
延べ人数	206	13	7	1	15	9	1	1	4

単位：人

【入院経過状況】

	入院日数	入院期間	入院原因
事例.1	14日	H27年03月24日～04月15日	てんかん発作
事例.2	9日	04月14日～04月24日	肺炎
事例.3	9日	04月14日～04月24日	気管支肺炎・喉頭狭窄
事例.4	25日	06月03日～06月29日	総胆管結石・胆嚢炎
事例.5	6日	07月01日～07月08日	総胆管結石・胆嚢炎
事例.6	12日	07月08日～07月21日	脳梗塞
事例.7	25日	07月10日～08月04日	間質性肺炎（退所）
事例.8	4日	08月19日～08月24日	鼠径ヘルニア手術
事例.9	43日	08月27日～10月10日	鼠径ヘルニア手術後感染症
事例.10	5日	09月14日～09月19日	心筋梗塞（死亡）
事例.11	14日	10月09日～10月24日	発熱・感染症
事例.12	11日	H28年01月16日～01月28日	脳梗塞
事例.13	21日	02月08日～03月01日	脳梗塞
事例.14	22日	02月17日～03月11日	左大腿部膿瘍手術
事例.15	32日	02月26日～03月30日	大腸がん穿孔による腹膜炎手術
事例.16	24日	03月07日～03月31日	脳梗塞（退所）
事例.17	6日	03月22日～03月29日	嘔吐・意識消失
計	282日		

※ 26 年度入院者数 9 人、 延べ入院日数 101 日

〔2〕事業内容

(1) ユニットの状況

- ◆一丁目ユニット・・・男性：6人 女性：9人 平均年齢：87.8歳 平均介護度：3.8
職員数：5人

1年を通して入院が多かった。2人の看取りを行い、それに伴い新規の方が入所された。看取りについてはご家族とその都度相談を行い、共に悔いが残らない看取りをすることができたと感じる。新規利用者には、少しでも早く施設の生活に馴染んでいただけるよう努めた。

ユニット全体での外出はできなかったが、利用者の食べたい物を聞き、皆で料理を作り賑やかな食事会を開くことができた。

28年度は、ユニットでの外出を行いたいと考えている。日々慌ただしい状態ではあるが、利用者がゆっくりと過ごせる時間を作れるよう工夫したい。



12/7 餃子パーティー

- ◆三丁目ユニット・・・男性：3人 女性：12人 平均年齢：86.1歳 平均介護度：4.1
職員数：4人

4人の看取りを行った。本人・ご家族はもちろん、職員も悔いのない看取りができるよう話し合い、丁寧なケアに努めた。また、新規利用者の受け入れについては、新しい生活に慣れていただき信頼関係を築けるように、皆で検討を行い援助した。また、回数は多くはなかったが、ユニット内で食事会を行い、利用者の素敵な笑顔を見ることができた。

28年度は、年2回ユニットで外出できるよう計画し、利用者の笑顔をさらに増やしていきたい。



8/6 そうめん流し


(2) 行事報告

【全体行事等】

月	日	行事名	場所	
4	1 7 19	入職式 いちご狩り ひろた開園 14 周年記念感謝祭	エコファーム内子	
5	22	お茶もみ		
6	23 28	デザートバイキング 防災訓練 家族の会 総会		
7	4 9 27	家族の会 予備日 玉谷小学校 人権の花贈呈式 手打ちうどん		
8	1 6 27	七夕祭り 広田保育所園児と一緒にそうめん流し 砥部町児童民生委員 施設訪問	ひろた交流センター	
9	21 26 30	敬老の日 祝い膳 家族の会 草刈り 防災訓練		
10	2 4 29	秋刀魚の会 物故者を偲ぶ会 道後一泊旅行	友輪荘	
11	9 22 24	広田保育所交流運動会 家族の会 大掃除・芋たき会 回転寿司		
12	24 25 28	クリスマスケーキ作り パン作り 餅つき		
1	1	年賀式		
2	12	バレンタインデー チョコ作り		
3	14	ホワイトデー クッキー作り		

【地域交流】

月	日	活動内容	団体および個人名	
4	2 13	おはなしかい 散髪	砥部町立図書館 髪切りクラブ	
5	15	駄菓子屋さん	橋本商店	
6	1 4 18	散髪 おはなしかい 独居友の会 総会	髪切りクラブ 砥部町立図書館・広田保育所 独居友の会	
7	10	駄菓子屋さん	橋本商店	
8	3 6 14	散髪 おはなしかい そうめん流し 総津地区 盆踊り	髪切りクラブ 砥部町立図書館 広田保育所	
9	9 20 30	白寿表彰式（参加2人） 広田小学校 運動会 独居友の会 カレーを食べる会	砥部町介護福祉課 広田小学校 独居友の会	
10	1 5 9 13 21 22 23 28	おはなしかい 散髪 駄菓子屋さん 篠谷地区 健康教室 鴨滝地区 健康教室 広田保育所 お神輿来所 総津地区・高市地区 地方祭 多居谷地区 健康教室	砥部町立図書館・広田保育所 髪切りクラブ 橋本商店 広田保育所	
11	1 13 26 27	広田ふるさとフェスタ 大内野地区 健康教室 仙波地区 健康教室 砥部町老人クラブ 施設訪問 中野川地区 健康教室	 砥部町老人クラブ	
12	3 7 10 11 16 29	おはなしかい 散髪 高市地区 健康教室 駄菓子屋さん 独居友の会 施設訪問 総津老人クラブ 施設訪問	砥部町立図書館・広田保育所 髪切りクラブ 橋本商店 独居友の会 砥部町老人クラブ	
1	13 28 31	玉谷地区 健康教室 満穂地区 健康教室 広田小学校 学習発表会	 広田小学校	
2	1 12 25	散髪 駄菓子屋さん 玉谷小学校 交流会	髪切りクラブ 橋本商店 玉谷小学校	

3	13	芸能発表会		
	28	鴨滝地区 健康教室		

〔3〕委員会

【委員会の種類と構成】

利用者の生活の質の向上、健康管理やケアの方法等について、関係職員で構成する会議及び委員会で専門的に分析、検討し、方針決定する。

委員会等の名称 \ 職名等	施設長	部長	生活相談員	看護主任	介護主任	管理栄養士	機能訓練指導員	介護支援専門員	ユニットリーダー	ユニットサブリーダー	ユニット職員	その他関係職員
(1) リーダー会	●	●	●	●	●	●		●	●			
(2) サブリーダー会	●	●	●	●	●			●		●		
(3) 介護力向上委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
(4) ユニット会議		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
(5) 事故防止委員会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
(6) 身体拘束廃止委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
(7) 褥瘡予防委員会	●	●	●	●	●	●		●	●			
(8) 感染予防対策委員会	●	●	●	●	●	●		●	●			
(9) 医療安全管理委員会	●	●	●	●	●	●		●	●			
(10) 苦情検討委員会	●	●	●	●	●	●		●	●			●

(注) 「その他関係職員」とは、在宅部門や管理部門職員で、協議事案に直接または間接的に関係する職員

(1) リーダー会

(開催日) 毎月最終水曜日

(主な協議事項) ユニット報告、業務連絡、困難事例の検討、ケアの方向性・確認を行う。

開催日	内容
H27. 04. 28	口腔ケアの評価 服薬事故検討 感染防止検討 休憩時間検討 業務見直し
05. 26	人事報告 褥瘡アセスメント 環境整備・食事口腔委員会の再開
06. 23	ショートステイ利用者の調整 急変時の対応方法検討
07. 28	環境整備検討 パート職員業務見直し・研修 成長支援制度
08. 25	アセスメントシート見直し 記録シート見直し 実習生対応
09. 30	居室の環境整備 道後一泊旅行検討 食事カード見直し
10. 27	家族会連絡事項検討 新人職員指導 事業計画 マットレスレンタルに変更

11. 24	加湿器購入 第三者委員会報告 新規ショートステイ利用者対応方法検討 パット代削減検討
12. 28	マニュアル見直し 新規ショートステイ利用者対応方法検討
H28. 01. 26	経口維持加算導入検討 リスクマネジメント検討 災害時の対応方法
02. 23	経口維持加算導入検討 実習生受け入れ 感染予防 サーバー入れ替え 28年度研修計画 成長支援制度説明
03. 22	新記録システム検討 成長支援制度説明 職員指導方法

(2) サブリーダー会

(主な協議事項) 事故防止対策、事例検討、ケアの方向性・確認を行う。

開催日	内容
H27. 04. 21	事故防止策の検討方法 夕勤のパート業務内容 ケアの方向性・確認
05. 19	事故防止検討 職員の業務検討 休憩時間検討
06. 16	医療事故(服薬)の検討 新人職員の指導検討
08. 31	ショートステイ利用者(男性)の女性職員に対する行為対応検討 医療事故検討 パート職員への研修報告 新規利用者の情報収集
09. 15	事故検討 移乗方法の検討
10. 26	事故(誤薬および内出血)検討 移乗方法の再検討
11. 17	事故検討 ケア検討 新人職員の指導方法
12. 15	事故検討 新人職員の指導方法
H28. 01. 19	事故(内出血・転倒・異食・誤嚥)検討 感染予防対策 体調管理説明
02. 16	事故(異食・転倒)検討
03. 15	事故(ショートステイ利用者の薬出し忘れ)検討 ケアの方向性検討

(3) 介護力向上委員会

トイレでの排便100%を目標に水分・運動・排泄の見直しを行う。

(開催日) 毎月第4火曜日

(主な協議事項) 個別のケース検討

開催日	内容
H27. 04. 28	利用者の環境検討 ショートステイ利用者のバイタル測定
05. 26	各委員会設置
06. 23	経管栄養利用者へのおやつ提供 入浴介助方法
07. 28	食事介助方法の検討 パート職員への食事研修報告 介護力向上委員会メンバー変更
08. 25	サンファイバーウォーター試供 夜間の義歯装着 介助用リフトシート購入検討
09. 30	摂食困難利用者への対応 食事介助方法の検討 車椅子の検討
10. 27	水分摂取量の検討 口腔ケア方法の検討 車椅子の検討 脱衣室の室温管理
11. 24	パットの見直し 水分摂取量の検討 リハビリ方法の検討

12.28	座位姿勢の工夫 義歯の調整 パットの検討
H28.01.26	食事量減少者への対応方法
02.23	胃瘻利用者への食事提供 口腔リハビリ方法 リハビリ方法検討
03.22	トイレ誘導方法 パットの見直しとコスト削減 経口維持加算 マッサージ師配置

《振り返りと目標》

トータル的なケアの考え方から、利用者のよりよい生活の検討を行ってきた。27年度一番の変化は胃瘻・鼻腔栄養の2人が経口摂取できたことである。失った能力を取り戻すことは、利用者本人はもちろん職員にとっても大きな喜びになる。今後も利用者一人一人の残存能力を引き出すケアを考えていきたい。

(4) ユニット会議

ケアの方向性の検討・確認 委員会報告を行う。

(主な協議事項) ケース検討 リハビリ方法 褥瘡予防 身体拘束廃止

委員会報告 栄養ケアマネジメント ヒヤリハット・事故報告検討

【一丁目】

月日	追加内容	月日	追加内容
H27.04.27	カンファレンス	10.20	個人情報保護の周知
05.25	服薬ミス(確認の徹底)	11.18	デスクカンファレンス
06.18	居室の片付け徹底	12.24	感染予防
07.24	居室の室温管理 モーニングケアの徹底	H28.01.20	デスクカンファレンス
08.21	居室で過ごす利用者のケア方法	02.18	利用者に対する声かけの仕方
09.25	リビングの模様替え検討	03.16	経口維持加算説明 成長支援制度説明

【三丁目】

月日	追加内容	月日	追加内容
H27.04.23	風邪の感染対策	10.23	水分量の見直し
05.20	ポジショニングの再検討	11.23	デスクカンファレンス 嚥下ハイリスク者の食事方法検討
06.22	デスクカンファレンス	12.25	ショートステイ利用者転倒予防検討 ショートステイ利用者の居室検討
07.17	ショートステイ利用者の物品 管理・伝達	H28.01.21	デスクカンファレンス 新規入所者のケア検討
08.18	褥瘡ハイリスク者の寝具検討 体動が多い利用者の内出血防止対策	02.22	事故検討(異食行為への対応)
09.22	新規利用者のケア検討 デスクカンファレンス	03.21	経口維持加算説明 成長支援制度説明

(5) 事故防止委員会

毎週各ユニットで事故分析を行い、困難事例に関してはサブリーダー会で分析及び改善策を再検討する。

① 件数

事故報告書・・・77件

該当	《危険度2》	…	処置や治療は行わなかったが、バイタルサイン・観察は継続的に必要	52件
	《危険度3》	…	簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の服用)	23件
	《危険度4》	…	濃厚な処置や治療を要した(骨折・縫合・入院等)	2件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
一丁目	5	3	2	2	2	4	5	1	3	2	3	0	32
三丁目	2	0	3	0	0	2	5	5	1	2	3	2	25
ショートステイ	6	2	1	1	1	0	3	0	1	2	2	1	20
合計	13	5	6	3	3	6	13	6	5	6	8	3	77

ヒヤリハット報告書・・・35件

該当	《危険度0》	…	事故を未然に防ぐことができた	14件
	《危険度1》	…	事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった	21件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
一丁目	1	0	0	2	0	0	1	0	1	0	2	3	10
三丁目	0	0	1	3	1	1	7	0	0	3	2	4	22
ショートステイ	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	1	0	1	6	2	2	8	0	1	3	4	7	35

医療機関へ受診したもの・・・2件

事例 1	居室にて一人で車椅子からベッドへ移ろうとされ転倒。腰椎圧迫骨折。
事例 2	居室にて一人でトイレに行かれ転倒。左肋骨を骨折。(ショートステイ利用者)

② 発生場所

居室	リビング	トイレ	浴室	その他
42.9%	30.4%	8.0%	6.3%	12.5%

③ 内容

内出血	転倒			医療事故	皮膚剥離	介助中	その他
	立った姿勢から	歩行中	その他				
16.1%	4.5%	1.8%	4.5%	15.2%	12.1%	5.4%	57.1%

④件数の推移

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
242 件	226 件	139 件	91 件	112 件

⑤ 分析

各ユニットで原因分析を行い、困難事例についてはサブリーダー会で再検討を行った。

事故件数について、26年度に比べ21件増加し、目標としていた10%減を達成することができなかった。要因として、新規入所者が多く、情報伝達と共有が不十分であったことが考えられる。

事故の内容は、「内出血」が全体の16.1%を占めている。これは利用者自身が動き発生したものと、職員介助時に発生したものが半数ずつ占めている。臥床時に手や足がベッド柵等に当たった可能性もあるため、ベッド柵を布で保護して対応した。皮膚剥離の事故も多かったため、介助方法の検討を行い再発防止に努めた。「転倒」は26年度に比べると減少している。利用者の重度化によって車椅子の使用率が高くなり独歩の方が減ったことによるものと考えられる。

医療機関を受診した「事例1」は新規利用者で、身体機能の把握が十分にできていなかった。情報共有の不足が原因としてあげられる。事故後の対応は、車椅子を使用しているが移動動作は自分のできるので、疼痛緩和に努め安全に動ける環境整備を行った。「事例2」はショートステイ利用者で、夜間自分でトイレに行こうとして転倒。高齢で歩行状態が不安定な上、利用前に自宅で転倒していたため一層不安定であった。見守りを嫌がられるため、利用時は職員が待機している部屋から近い居室にするよう対策をとった。医療事故は26年度と比べると4件増加した。中でもショートステイ利用者の配薬ミスが目立っており、連携や伝達ミス、確認不足が考えられる。医療安全管理委員会・リーダー会で検討し看護職と介護職で互いに確認を行い、再発防止に努める。

(6) 身体拘束廃止委員会

(目標) 身体拘束のないケアを行う。

開催日	内容
H27.04.27	H氏：ベッドから下りられる。医師に相談し、不穏時は薬を服用
05.25	H氏：ベッドから下りられる。不穏時は家族にも協力を依頼
09.25	H氏：不穏時は安定剤を服用
12.24	I氏：胃瘻チューブ抜去。経管中チューブが本人に触れないように工夫
H28.02.22	O氏：低床ベッドから普通ベッドに変更 A氏：低床ベッドに変更

《振り返りと目標》

27年度は身体拘束を行う事例はなかったが、新規入所に伴う環境の変化や、体調の変化から不穏になるケースがあったため、様々な対応策を講じてきた。事故防止の目的からともすれば拘束になりかねないケースもあるため、環境面を含め、今後も検討を重ねていきたい。

(7) 褥瘡予防委員会

(目標) 褥瘡予防と早期発見、対応を行う。

開催日	内容
H27.05.26	ハイリスク者の抽出（10人）前回との比較・原因分析 車椅子の座面・クッション等の検討 褥瘡のある新規入所者の対応検討
11.24	ハイリスク者の抽出（5人）前回との比較・原因分析 ベッドのマットレス全面的に変更（コンフォートB）

《振り返りと目標》

年2回の健診結果をみて、褥瘡発生リスクを点数化している。ハイリスク者数を春と秋で比較すると、リスクの高い利用者が死亡退所したこともあり半数に減った。褥瘡発生者は2人。1人はターミナルの利用者で、毎日の処置と除圧を徹底したが、治癒することなく死亡した。もう1人は褥瘡ができた状態で入所したが、除圧、クッションの工夫、処置の変更により治癒した。

27年度は、低アルブミンの利用者が多く、栄養士と連携して栄養補助食品等を検討・利用し経過観察中である。

今後も皮膚の状態の観察、保湿を図る等、早期対応に力を入れて予防していきたい。

（8）感染予防対策委員会

（目標）感染予防及び発生時の対応と検討を行う。感染対策に関する職員研修を行う。

開催日	内容
H27.06.23	食品の管理の徹底 4月に風邪流行した原因分析と今後の対策 手洗いの徹底
09.30	インフルエンザ・ノロウイルス感染予防の徹底（加湿、体調管理、食品の管理）
12.28	手洗い・うがい・加湿の徹底 年末年始の面会者への注意喚起
H28.03.22	インフルエンザ感染ゼロの報告 引き続きの注意喚起

《振り返りと目標》

4月に風邪が流行し8人が感染、そのうち2人が肺炎で入院となった。委員会にて調査検討の結果、体調不良職員の十分な手洗いができていなかったことが原因と思われる、手洗い等の周知徹底を行った。その後感染症の発生はなかった。インフルエンザとノロウイルスの感染も発生しなかった。

28年度も引き続き感染予防に努め、利用者、職員の体調管理をしっかりとしていきたい。

（9）医療安全管理委員会

（目標）医療事故防止の徹底と安全に対する意識啓発、対策検討を行う。

開催日	内容
H27.06.23	医療事故5件報告 配薬・服薬の責任者の徹底
07.10	服薬管理、服薬方法等の検討・周知徹底
09.30	医療事故4件報告 服薬確認の徹底・医療監査報告
12.28	医療事故5件報告 経管栄養中のチューブ抜去予防の方法検討
H28.03.22	医療事故2件報告

《振り返りと目標》

27年度も誤薬、配薬ミスが多かった。ショートステイ利用者の薬については表示記入の工夫を図る等、その都度再発防止策を講じてきたが、時間が経つと再度同じミスが起きている。継続して注意喚起を行うことが重要と感じている。

また、経管栄養の利用者が増え、チューブ抜去の事故も起きている。身体拘束をしないで安全に経管栄養を行っていく方策を模索中である。

(10) 苦情検討委員会

(目標) 利用者及びその家族からの苦情に対し、迅速、公正かつ適切に解決することを目的とする。

苦情受付件数：0件

2階入口に「ご意見箱」を設置し、随時、苦情を受け付けている。

◎第三者委員会

第1回 第三者委員会

平成27年7月29日 15:00～16:00 / 特養ひろた研修室

出席第三者委員：3人

理事会・家族会の協議内容、施設の運営状況、26年度の苦情受付・対応結果報告

事故報告・介護力向上の取り組みについて説明

報告後、不眠について「日光に当たることも有効」とアドバイスを受けた。また、「利用者目線のケアができており、自分が入るならこのような施設に入りたかった」「退職者の退職理由が気になる」と意見をいただいた。

年2回の開催を提案、了承いただく。

第2回 第三者委員会開催

平成27年11月19日 15:00～16:00 / 特養ひろた研修室

出席第三者委員：2人

27年度上半期の入退所者数、苦情受付数、事故報告

事故対策について質問があり、「対応策をたてて終わりではなく、継続して確認を行うことが重要」と意見をいただく。また、施設で看取りを行う際の問題点については、医師との連携の問題や看護と介護の意見のズレによって施設内での連携が難しいなどの意見があると話された。

〔４〕その他の会議

(1) 利用者相談会「いどばた会議」

砥部町介護相談員の施設訪問で、定期開催している。

利用者は、介護相談員に地域の出来事を聞いたり、施設での日々の様子を話したりして、毎回楽しみにされている。

また、介護相談員には、職員では聞き出すことができない利用者の声を施設に伝えてもらっており、利用者と職員の心強い橋渡しを担ってもらっている。



開催日	相談員数	相談利用者数	開催日	相談員数	相談利用者数
H27.05.20	3	14	10.21	3	18
06.17	3	15	11.18	3	18
07.15	3	22	12.16	3	20
08.19	3	18	H28.02.17	3	16
09.16	2	10			

(利用者の声・介護相談員からの報告事項及び対策)

報告事項	対策・理由
5/20 利用者から「歯が悪いのでご飯が食べにくい」との意見があった。	歯科医に義歯作成を相談
7/15 ① 鼻水が出ている利用者があるが、寒いのではないか？ ② レクリエーションの実施時間はどのくらいか？	① エアコンや衣類の調整を行う ② 特養での集団レクリエーションは現在実施が難しく、デイサービスとの交流レクリエーションを実施していることを説明
8/19 ① 「おやつがない」と利用者が訴えていた ② 食後の飲み物は好みによってそれぞれ違っているのか？ ③ 食事を残されている利用者がいたが、少し夏バテしているのでは？	① おやつの時間について説明。個々に合わせた時間にておやつを出していることを説明 ② 希望に応じて出していることを説明 ③ 職員も心配しており、工夫を行っていることを説明

(2) 家族の会

施設利用者家族同士の親睦や施設職員との交流で相互理解を深め、施設の運営や介護サービスにおける意見交換や課題解決を行い、サービス内容の向上を図ることを目的とする。また家族の施設行事への積極的参加を促す。

○平成 27 年 6 月 28 日

総会・・・22 家族 26 人、面談 23 家族

○平成 27 年 7 月 4 日

総会予備日・・・2 家族 3 人、面談 2 家族

※面談が実施できなかった家族については後日、面談を実施。



11/22 大掃除

○平成 27 年 9 月 26 日

施設裏の草刈り…9 家族 9 人

○平成 27 年 11 月 22 日

大 掃 除・・・17 家族 23 人

芋たき会・・・16 家族 26 人

会長の声かけで、新たに施設裏の草刈りも行う等、家族の会の活動が活発になってきている。

3. 在 宅 部 門

〔1〕 指定居宅介護支援事業所ひろた

【平成 27 年度目標の評価】

(1) 利用者の自立と QOL の維持、向上を目指したケアのプログラム作り

デイサービスやショートステイを利用することにより、歩行状態、身体状況等の改善が見られた。歩行状態が良くなることで、明るくよく話しをされるようになる方や、当初は自宅から出ることを渋っていた方が活動的になった。その中で、自宅で一人過ごされているときに転倒し、脳出血で寝たきり状態になってしまったケースもある。状態が改善することはいいことであるが、反面転倒等のリスクも増してくる。

在宅での生活を続けていくためにどのような工夫をしていけばいいか、日頃から家族、地域、事業所等と相談を行い、元気に楽しく過ごせる環境づくりが必要と感じる。

(2) 個々の生活状況に合わせたケアのプログラム作り、支援

個々の生活状態を聞き取り、希望するサービス等の調整を行ったが、意欲的なケースとそうでないケースの差がある。健康管理についても、もともとの生活からくる習慣で病院受診等行わない方もいる。また、サービスが必要であっても経済的な理由で利用できない方もいた。在宅で生活し続けられるよう情報収集を行い、必要な支援を迅速かつ的確に行いたい。

(3) できるだけ住み慣れた家、地域に住み続けられる支援

認知症状や病状により、在宅で生活することが難しいケースが少しずつ増えている。27 年度は夫婦で在宅生活が難しくなるケースが見られた。同じ所で生活を送りたいと希望し、サービス付き高齢者住宅に入居、また長期のショートステイを利用する等、住み慣れた自宅から離れないといけなくなった。しかし、中には中程度の認知症があるものの独居でサービスを利用しながら生活をしている方もいる。月の半分はショートステイを利用して、それ以外はデイサービスを利用。自宅にいる時は、地域の方が訪ねたり、週末は家族が帰省したりとバランスよく対応ができていく。

(1) 運営状況

() 介護予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用人数	25 (6)	25 (6)	26 (6)	27 (6)	27 (6)	26 (6)	26 (6)	29 (6)	30 (8)	31 (9)	33 (9)	34 (10)	28.3 (7)

※ 26年度月平均利用人数 34.5人 (3.1人) 26年度比 18%減

単位：人

(2) 事業内容

【契約利用件数】 () は26年度比

地区	契約者数	平均介護度
総津	12 (+2)	1.8
玉谷	12 (-2)	2.8
高市	6 (-4)	2.7
満穂	4 (+2)	2.3
多居谷	2 (+5)	2.5
仙波	8 (-1)	2
中野川	4 (+1)	1.7
広田地区以外	3 (-2)	5
合計	51 (+1)	2.6

※契約は行ったが、サービスの利用につながらなかった方は9人いた。

入院し亡くなった方・・・3人

退院後施設入所となった方・・・3人

長期入院継続中の方・・・1人

(慢性的な疾患あるが、在宅復帰を目指しながら入院生活を送っていたが、回復困難なケースであった。)

サービス利用なし・・・2人

※介護予防含まず ※サービス利用なし含む

【介護度別利用実人数】 平均要介護度：2.3 (26年度：2.7) 平成28年3月31日現在

	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
男性	3	1	8	2	6	2	0	22(+9)
女性	2	4	5	4	3	1	3	22(+3)

() は26年度比

【サービス利用数】 平成28年3月31日現在

利用サービス	人数	割合 (%)
1種類	16	36.3
2種類	18	41
3種類	7	16
4種類以上	3	7
合計	44	

【サービス利用の多い組み合わせ】

1種類 通所介護 8件 短期入所 3件

2種類 通所介護+福祉用具貸与 6件

3種類 通所介護+短期入所+福祉用具貸与 4件

4種類 通所介護+訪問介護+福祉用具貸与+短期入所 2件

※介護予防含む

26年度は長期の短期入所生活介護が、27年度は通所介護、福祉用具貸与の利用が多かった。介護度が上がるにつれ、短期入所生活介護の利用率は高くなっている。

【福祉用具レンタル】 利用者数 19 人（内要支援 3 人）

○利用品目 ※（ ）内は人数

電動ベッド（7） 床ずれ予防マットレス（3） 車椅子（6） 車椅子用クッション（3）
手すり（8） 歩行器（5） 歩行補助杖（1） スロープ（2）

（3） 苦情受付

受付件数：0 件

（4） 地域連絡会

（参加者） 町保健師、国保診療所（医師、看護師）、地域包括支援センター職員、社協ヘルパー、
居宅ひろた介護支援専門員、特養ひろた生活相談員、砥部デイ生活相談員

（開催場所） ひろた交流センター研修室

（開催日時） 毎月 第 4 金曜日 13:30～

（協議事項） サービス担当者会議、ケース検討、各機関連絡事項、そのほか

〔2〕 たちばなの家じゃんけんぽん

【平成 27 年度目標の評価】

（1） 運動や水分摂取への取り組みを強化して健康な身体作りを行う

26 年度に引き続き、水分摂取量を増やすよう取り組み、定時の体操や身体を動かす働きかけを行った。結果、体調不良者が少なくなる効果が出た。一方で、加齢や重度化によって水分が摂り辛くなってきた利用者も増えつつある。そのような利用者にとどのような支援を行えば、在宅で健康な生活が続けられるのかが新たな課題となってきた。

（2） 利用者の情報を共有し、ニーズに的確に応える

利用者本人や家族への聞き取り、そして、アセスメントの見直しや職種間の評価を共有することで、利用者の生活状態に関する理解を深め、統一したケアが提供できた。今後は、身近な相談窓口として生活全般において支援できるよう取り組みを強化していきたい。

（3） 施設外、施設内の研修に参加し、職員の資質の向上を図る

職員それぞれが、関心を持っているテーマや課題と感じている事案に関する外部研修に参加できた。しかしながら、その学んだことを持ち帰り、職員間で共有して現場に役立てることができたかという点では、不十分であった。より質の高い共通したケアを提供するためには、学んだ知識や技術を個人だけのものとして終わらせず、相互的な研修で現場に上手く生かしていくことが重要である。今後の課題の一つとして、取り組んでいきたい。

（4） コスト意識を持ち安定的な運営を図る

27 年度新規利用者は 10 人でほぼ例年並みであったものの、利用終了者が 12 人（死亡 5 人、入所 4 人、他施設 1 人、自立 2 人）と過去最多となつてしまい、稼働率が 26 年度比 30%超減

という厳しい結果を突き付けられた。

ただ、地域に開かれた事業所づくりを目指す取り組みの一環として、法人役員や一般ボランティアの協力で27年度から定期開催している「ひろた野菜市」が人気を博し、近隣住民への事業所認知度が高まってきているという明るい兆しも見えている。

(1) 運営状況

定員 10人 稼働率・・・36.8% (通所介護+介護予防)

【通所介護】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	13	11	11	15	16	11	10	11	11	11	11	12	143
利用延人数	121	102	99	134	132	84	79	79	78	84	91	97	1,180

※ 26年度延利用人数 1,720人 26年度比 31.4%減

※ 平均年齢 86.5歳 ※ 平均要介護度 3.0

【介護予防通所介護】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
利用延人数	12	12	10	18	17	17	18	17	8	7	8	9	153

※ 26年度延利用人数 262人 26年度比 41.6%減

※ 平均年齢 79.0歳 ※ 平均要支援度 2.0

【介護度別利用実人数】 平成28年3月31日現在

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用実人数	0	1	3	3	1	1	4	13

【介護度別利用延人数】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均回数
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	12	12	10	18	17	17	18	17	8	7	8	9	153	12.8
要介護1	32	28	34	35	37	31	31	28	19	20	22	19	336	28.0
要介護2	29	13	11	33	47	32	25	24	21	21	23	23	302	25.2
要介護3	27	29	26	27	22	0	0	0	4	13	15	16	179	14.9
要介護4	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	4	4	14	1.2
要介護5	33	32	28	33	26	21	23	27	34	30	27	35	349	29.1
合計	133	114	109	152	149	101	97	96	86	91	99	106	1,333	111.1
稼働率 (%)	44.3	36.8	36.3	49.0	48.1	33.7	31.3	32.0	28.7	32.5	34.1	34.2	36.8	

(2) 事業内容

月	日	行事名	場所	
4	1, 2	お花見	砥部町赤坂泉	
	11	外出	東温市花卉センター	
	19	ひろた開園 14 周年記念感謝祭参加	特養ひろた	
	26	外出	太山寺	
	1, 2	外食	ステーキハンバーグけん	
5	3	外出	しまむら 谷町店	
	11	ピザ作り		
	17	外出	トスカーナの休日	
	20	外出	羅座垂留 平井店	
	21	山菜ごはん作り・茶もみ		
6	3	かつおの解体ショー		
	8	園芸 (花壇に苗植え)		
	10	外食	すし水軍 樽味店	
	11	外食	サントキキ 東本店	
	22	スポーツレクリエーション (風船バレー)		
7	5, 6	七夕飾り		
	8, 16	外食	中国かつぼう大岩	
	18	スポーツレクリエーション (ボウリング)		
	20	クッキング (いなり寿司作り)		
	23	クッキング (餃子作り)		
8	9	外出	イオン 松山店	
	18, 23	外食	くら寿司 小坂店	
	19	ショッピング	ジョープラ	
	22	手芸 (マグネット作り)		
9	2	スポーツレクリエーション (ボウリング)		
	6	外出	エフマルシェ・セリア	
	12	栗の皮むき・カラオケ		
	16, 17	ミニミニ運動会		
	21, 22	敬老を祝う会		

10	<p>3 おやつ作り (さつま芋きんつば)</p> <p>7 秋祭り・外食</p> <p>11 外食</p> <p>13 外食</p> <p>18 砥部町社協フェスタ</p> <p>21 遠足</p> <p>30 愛・民家連運動会</p>	<p>すし徳 大街道店</p> <p>ココス 朝生田店</p> <p>すし処家族 平井店</p> <p>砥部町中央公民館</p> <p>旧北条 鹿島</p> <p>コープえひめ 朝生田店</p>	
11	<p>3 素鷲地区文化祭見学</p> <p>10 外食</p> <p>11 外食</p> <p>15 外食</p> <p>20 じゃんけんぼん文化祭</p> <p>25 広田 回転寿司 参加</p>	<p>素鷲公民館</p> <p>旬膳 ふる田 立花</p> <p>すし処家族 平井店</p> <p>ひだまり 朝生田店</p> <p>特養ひろた</p>	
12	<p>3 クリスマスツリー飾り</p> <p>7 園芸 (花壇、玄関の花の苗)</p> <p>8, 13 外食</p> <p>9 外出</p> <p>24 クリスマス会</p> <p>26 餅つき</p>	<p>すし水軍 樽味店</p> <p>道後温泉周辺</p>	
1	<p>4 新年会</p> <p>5, 6, 7 初詣</p> <p>5 外食</p> <p>10 外食</p> <p>13, 14 クッキング</p> <p>15 ショッピング</p> <p>24 ショッピング</p>	<p>椿神社</p> <p>ほうの花 朝生田店</p> <p>ココス 朝生田店</p> <p>高島屋</p> <p>フジグラン</p>	
2	<p>2 恵方巻き作り</p> <p>3 外出</p> <p>14 ショッピング</p> <p>16 外食</p> <p>21 外食</p> <p>24 外出</p>	<p>石手寺：餅まき</p> <p>椿さん方面</p> <p>すし水軍 樽味店</p> <p>ステーキハンバーグ けん</p> <p>ジョーブラ</p>	
3	<p>7 散歩</p> <p>15 外食</p> <p>17 外出</p> <p>20 外食</p> <p>22 はり絵 (共同制作)</p>	<p>石手川緑地公園</p> <p>かどや半兵衛</p> <p>ジョーブラ</p> <p>かどや半兵衛</p>	

(地域交流イベント)

【ひろた野菜市】 奇数月第2土曜日開催

広田地区の農家や独居友の会の会員と協力し、余剰野菜を安価で提供してもらい販売している。手作りの梅ジュースや温かいゆずドリンク等のサービスも行い、買い物後は、ひと休みしながら世間話に花が咲く。高齢の方には、自宅まで荷物を持って同行もするので、安心して袋いっぱい購入されるお年寄りも多い。



また、12月には広寿会理事による餅つきイベントを併せて開催した。次々にお客さんが立ち寄り、餅が間に合わないほどの大盛況だった。

【じゃんけんぼん地域セミナー】

毎回いろいろなテーマで講演会等を企画している。近隣住民やご家族にも案内し、一緒に学べる機会として開催している。

- 開催日：平成27年11月26日(木)
- 講師：一ノ宮 孝司 氏 (理学療法士)
- 参加者：12人 (利用者3人、地域住民5人、職員4人)
- 内容：『住み慣れた環境で暮らすためには』



(3) 事故報告

① 件数

事故報告書・・・2件 (車のドアで手を挟む。腕に内出血あり。)

{ <<危険度3>> ... 簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の服用) 2件

ヒヤリハット・・・8件

該 当 { <<危険度0>> ... 事故を未然に防ぐことができた 4件
<<危険度1>> ... 事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった 4件

② 内容

車のドアで手を挟む	1	トイレのファンレストテーブルが落下	1
内出血あり	2	配薬ミス (食前薬忘れ)	1
バランス崩して転倒しかける	4	味噌汁かやす (火傷なし)	1

③ 原因

職員の不注意	2	確認不足	2
見守り不十分	4	原因不明	2

④ 件数の推移

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
15 件	15 件	10 件	10 件

⑤ 分析

内出血 2 件は、発見前の状況等検証したが、発生原因がはっきりせず対応に苦慮した。「車のドアで手を挟む」「ファンレストテーブル落下」は、幸い大事には至らなかったが、介助中の確認不足であり、一つ間違えば重大事故に発展する可能性もある。徹底して確認することの重要性を改めて痛感した。レクリエーション中にバランスを崩す、ソファやベッドからのずれ落ち、配薬ミス等は、職員が気を付けていれば防げたケースで 6 件ある。27 年度は、職員が注意していれば防げた事故が多く、28 年度は事故・ヒヤリハット件数を減らすために、リスクマネジメントを行い、危険予測ができるような研修を実施したい。

(4) 避難訓練

- 実施日 平成 27 年 10 月 1 日
- 参加者 利用者：3 人（2 人は臥床中で不参加）
職員：4 人
- 消防署の立ち会い なし



(5) 苦情受付

受付件数：0 件

(6) 在宅ケア委員会

(参加者) 施設長、部長、居宅介護支援専門員、たちばなの家職員

(主な協議事項) 担当より連絡・報告 ケース検討 実績報告

開催日	協議項目
H27. 04. 20	介護報酬改正 野菜市開催計画 看護職本採用 認知症研修計画
05. 25	26 年度決算報告 業務分担検討
06. 22	稼働率アップ検討 水分摂取や熱中症対策 食中毒と清潔保持への対応
07. 24	新規利用 5 人増 接遇面の改善 出勤時間等検討 成長支援制度説明
08. 24	稼働率アップ検討 地域交流イベントの検討 認知症勉強会具体化
09. 18	稼働率アップ検討 地域への情報発信 認知症勉強会進捗 情報の共有方法検討

10.14	緊急連絡先の整理 地域交流イベントの内容検討 広田回転寿司の案内
11.20	稼働率アップ検討 12月の野菜市開催検討 研修報告・勉強会の実施
12.18	居室レイアウトを再検討 RS ウィルスやインフルエンザ対応
H28.01.15	ノロウイルス対策 営業日検討 個別リハビリ内容検討
02.17	営業日変更報告 職員個々のレベルアップ方法検討 地域の拠点作りの仕掛け
03.16	28年度の野菜市開催検討 28年度稼働率目標 曜日変更者のフォロー

〔3〕砥部町デイサービスセンター（砥部町委託事業）

【平成27年度目標の評価】

(1) 一日でも長く在宅生活を続けられるよう体調管理、機能訓練を行う

デイサービス利用者の約30%が独居で生活している。故に、デイサービス利用時の様子観察が重要となる。変化を見逃さず家族・介護支援専門員に連絡する等の対応を行うことができた。

また、「身体がよるこぶ水の飲み方」のわかりやすい独自のパンフレットを作成し、利用者・家族に正しい水分補給の方法を丁寧に説明した。水分摂取の必要性を理解していただき、利用中のみならず、自宅での水分摂取が定着してきたように思う。デイサービスを毎日利用されるようになった方には、「元気になった」「しっかりと歩けるようになった」と喜んでもらっている。今後は、より具体的な目標を掲げてリハビリに取り組んでいく。

レクリエーションでは、手指のリハビリを兼ね、段ボールや棕櫚の葉を使用したゲームの道具を利用者・職員が一緒になって作った。またゲームで大笑いすることで「家に一人で居ると笑うこともないが、ここに来ると腹を抱えて笑え楽しい！」と多くの笑顔を見ることができた。

(2) 統一したサービスの提供とリスクマネジメント

利用者の状態の変化やニーズを汲みとり、全職員で情報交換・ディスカッションを行い、個別ケアに努めた。利用者の特技や趣味を活かすレクリエーションを取り入れることで、定期的な利用に繋がったケースもあった。

事故報告は、ヒヤリハットを含めて12件。事故分析や対策をチーム全体で十分話し合い、再発防止に努めた。通所利用者は、26年度に比べ少なくなったが、介護予防利用者は増えており、今後要介護状態にならないように支援していきたい。

(1) 運営状況

定員 20 人 稼働率・・・65.5% (介護+介護予防)

【通所介護】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	21	21	22	22	21	22	21	21	22	25	27	28	273
利用延人数	193	203	224	226	200	208	206	194	208	179	254	242	2,537

※ 26年度延利用人数 3,019人 26年度比 15.9%減

※ 平均年齢 86.1歳 ※ 平均要介護度 2.2

【介護予防通所介護】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	12	13	12	13	16	14	13	13	13	13	15	17	164
利用延人数	77	62	67	84	78	73	70	70	65	51	79	93	869

※ 26年度延利用人数 650人 26年度比 33.7%増

※ 平均年齢 84.3歳 ※ 平均要支援度 1.4

【介護度別利用実人数】平成28年3月31日現在

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用実人数	10	7	10	8	7	1	2	45

【介護度別利用延人数】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均人数
要支援1	18	12	17	22	25	31	32	34	30	24	36	45	326	27.2
要支援2	59	50	50	62	53	42	38	36	35	27	43	48	543	45.3
要介護1	60	60	63	65	67	66	53	54	67	48	74	54	731	60.9
要介護2	37	42	52	48	40	38	50	45	52	47	57	65	573	47.8
要介護3	63	62	81	82	66	83	81	75	70	72	105	101	941	78.4
要介護4	4	10	4	5	4	1	0	0	0	0	1	4	33	2.8
要介護5	29	29	24	26	23	20	22	20	19	12	17	18	259	21.6
合計	270	265	291	310	278	281	276	264	273	230	333	335	3,406/	283.8
稼働率(%)	61.4	63.1	66.1	67.4	66.2	63.9	62.7	62.9	62.0	57.5	79.3	72.8	65.5	

(2) 事業内容

【通所介護】

月	日	行事名	場所	
4	1 15 23	お花見 おやつ作り (いちご大福) 外出	砥部衝上断層	
5	1 14 18~21 22	たけのこごはん作り 第一興商音楽デモ 外食 お茶もみ	久万高原町道の駅 	
6	18 23	おやつ作り (わらび餅) 防災訓練・消火訓練		
7	22 23 27~30 31	誕生会・おやつ作り (ケーキ) 特養交流カラオケ大会 七夕飾り作り 七夕飾りつけ		
8	7 13 14.18 27	そうめん流し 夏野菜カレー作り おやつ作り (かき氷) 特養交流玉入れ大会		
9	2 16 16 30	フラダンス鑑賞 おやつ作り (おはぎ) 敬老会 防災訓練・消火訓練		
10	2 12 19 22 23	秋刀魚の会 デイサービス秋季大運動会 栗ごはん作り ドライブ 外出 (秋祭り見学)	小田道の駅 高市	
11	25	回転寿司	福祉センター	
12	14.17 15 23 28	鍋パーティー たくあん作り クリスマス会 (ケーキ作り) 餅つき	特養ひろた	
1	4 5 13 25	書き初め かるた大会 新年会 お茶会 (いちご大福&抹茶)		
2	3 5	節分 豆まき お茶会 (いちご大福&抹茶)		
3	2 7,18 30	おやつ作り (豆いり) 青空カフェ お楽しみ会 (誕生会)	福祉センター中庭	

【地域交流】

月	日	活動内容	団体および個人名	
4	9	音楽鑑賞（ハーモニカ）	樋口氏	
	19	ひろた開園 14 周年記念感謝祭	特養ひろた	
	29	演芸ボランティア	おととと一座	
5	14	おはなしかい	砥部町立図書館・広田保育所	
6	18	カラオケボランティア	椿趣味の会	
	24	音楽鑑賞（三味線）	岩井氏ほか4人	
7	2	おはなしかい	砥部町立図書館・広田保育所	
8	20	舞踊鑑賞	まいの会	
9	3	おはなしかい	砥部町立図書館・広田保育所	
	10	交通安全講話	松山南警察署交通課 巡査ほか2人	
10	14	歌謡ショー	椿の会	
	22	広田保育所お神輿来所	広田保育所	
	23	地方祭		
11	3	演芸ボランティア	おととと一座	
	5	おはなしかい	砥部町立図書館・広田保育所	
	9	広田保育所・特養ひろた交流運動会	広田保育所・施設利用者	
12	23	音楽鑑賞（オカリナ）	オカリナ愛好会	
1	7	おはなしかい	砥部町立図書館	
2	15	高市小学校交流会	高市小学校	
	25	玉谷小学校交流会	玉谷小学校	
3	3	おはなしかい	砥部町立図書館・広田保育所	
	9	歌・踊りボランティア	アーティストグループ エンゼル	

(3) 事故報告

① 件数

事故報告書・・・4件

 { 《危険度3》 … 簡単な処置や治療を要した(消毒・湿布・皮膚剥離・鎮痛剤の服用) 4件

ヒヤリハット・・・7件

該 当 { 《危険度0》 … 事故を未然に防ぐことができた 2件
 《危険度1》 … 事故を未然に防ぐことはできなかったが、バイタルサインを含め異常は確認されなかった 5件

② 内容

移動中の転倒	3	送迎中車内での車椅子からの転落	1
調理中の軽度火傷	1	異食	1
送迎時、乗車中の利用者が1人で下車	2	配薬ミス	1
内出血	1	迎え時、利用者自宅より独歩	1

③ 事故の原因（複数回答）

職員の不注意	1	本人の不注意	2
見守り不十分	2	確認不足	4
原因不明（特定できず）	1		

④ 件数の推移

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
15 件	11 件	9 件	11 件

④ 分析

27年度は、利用者の移動中の事故が目立つ。レクリエーション終了時や帰宅前の利用者が一斉に移動する時間帯の事故が2件、送迎時、停車中の車内から一人で下車していたケースが2件あり、26年度に比べて職員の慣れによる確認・注意不足による事故が多く見られた。リハビリ等により利用者の歩行状態が改善し活動性が増したことや、認知症状の進行に伴うことも一つの要因と考えられる。利用者の状態に関する情報共有・周知及び所在確認を含む見守りと職員間の声掛け確認徹底等を行い、再発防止に努めていく。

(4) 苦情受付

受付件数：0件

(5) 在宅ケア委員会

(参加者) 施設長、部長、居宅介護支援専門員、砥部町デイサービス職員

(主な協議事項) ケース・業務検討、各部署・委員会より連絡

開催日	協議項目
H27. 04. 15	業務の見直し マニュアルの再確認
05. 20	認知症予防教室実施内容
06. 17	熱中症・脱水予防
07. 21	水分摂取の評価
08. 19	身体機能維持向上に繋がるリハビリ実施
09. 17	業務改善

10.20	事故の原因分析と今後の対応策
11.18	リフト車両有効活用検討
12.17	感染予防対策
H28.01.21	目標稼働率の達成検討
02.22	27年度事業評価
03.25	28年度事業計画

(6) 車両配備



H27.9 砥部町より

利用者が乗り降りしやすいようステップを装備。
利用者からも好評得ている。



H28.3 日本財団より

車椅子に座ったままで乗り降りが可能。

(7) 砥部町地域支援事業（砥部町委託事業）

【転倒予防教室】

目的：転倒を予防し、骨折等により要介護状態にならないようにする。

- 実施日：平成27年10月8日（土）14：00～15：00
- 講師：一ノ宮 孝司 氏（理学療法士）
- 参加人数：14人
- 場所：高齢者生活福祉センター
- 内容：『転ばないこと！！ロコモティブシンドローム』



《評価》

転倒しないようにするためにはどのようなことに注意すればいいか、日頃からの予防の大切さがよく理解できた。人形を使いユーモアを交えてわかりやすい内容であり、楽しく理解することができた。長年使ってきた身体であり、足腰が痛くなるのは当たり前、それとどう付き合っていくか、生活の中で気を付ける点等の説明もあった。

地域会合、稲刈り等で参加者が少なかった。開催時期は検討が必要。

【地域住民グループ支援事業】

目的：地域や世代間の交流を図ることによって、高齢者の生活意欲の向上を目指す。



ぶどう狩り
平成 27 年 8 月 26 日（水） 参加者：8 人



三世代交流大運動会
平成 27 年 11 月 9 日（月） 参加者：22 人



高市小学校交流会
平成 28 年 2 月 15 日（月） 参加者：23 人



玉谷小学校交流会
平成 28 年 2 月 25 日（木） 参加者：10 人

【通所型介護予防事業】

目的：65 歳以上で介護保険サービスを利用するまでに至らないものの、将来的に介護が必要になる可能性の高い人を対象に、状態の維持または改善を目指す。

対象者：2 人

評価：担当者会議を開催、プログラムを作成し実施。3 ヶ月後アセスメントを行い、さらに3 ヶ月間取り組む。本人も意欲を持って取り組み、機能の向上が見られた。

【いきいき見守り配食サービス】

目的：65 歳以上の独居高齢者等で食事の調理が困難な希望者に、バランスのとれた食事を提供するとともに定期的な安否確認を行う。

○利用状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
利用者数	6	6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	5.6/67
延利用回数	53	52	60	48	56	58	49	49	34	41	47	41.8/501

食事を届けた際に高熱を出していた利用者を見出し、家族や介護支援専門員に連絡を取り、受診につなげたケースがある等、定期巡回による安否確認の重要性を再認識できた。週2回の提供に対し、利用者からは回数を増やしてほしいとの希望もでてくる。



【認知症予防教室】

目的：楽しみながら身体を動かすことで認知機能の低下を抑制し、住み慣れた地域で生活を続けられるよう啓発支援していく。

- 実施日：平成28年3月28日（月）
- 講師：河原学園 非常勤講師 藤田 典子 氏
- 参加人数：14人
- 場所：鴨滝集会所
- 内容：『いつでもできる 認知症予防のための
簡単プログラム 楽しいことが一番』



〔4〕支援ハウス（砥部町委託事業）

（1）運営状況

定員10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

単位：人

（2）行事報告

月	日	内容	場所
4	19	ひろた開園14周年記念感謝祭	特養ひろた
6	23	避難訓練	
9	30	避難訓練	福祉センター
10	23	地方祭	
11	9	三世代交流運動会	デイサービスホール
	25	回転寿司	デイサービスホール
12	25	クリスマス会	和室



回転寿司

※ デイサービスや特養ひろたでの催し物に随時参加

4. 会 議 等

〔1〕 運営会

事業運営、各事業所の課題検討、実績報告等話し合いを行う。

(参加者) 施設長、部長、居宅介護支援専門員、たちばなの家管理者、砥部デイ生活相談員、特養生活相談員、介護主任、看護主任、管理栄養士

(開催日) 毎第3月曜日 17:00～

(主な協議事項) 各部署からの報告・連絡

開催日	協議項目
H27.04.24	運営会の会議時間変更 感染予防 業務改善 監事監査 事業報告作成
05.18	業務連絡方法 自己申告 ナイスアイデア賞 人事 26年度収支報告
06.15	人事 人事・賃金制度構築に向けた職員アンケートの説明 業務検討 処遇改善一時金 施設施設錠時間の変更 食事・居室代負担軽減の基準変更
07.20	超過勤務の申告方法変更 環境整備 出張報告書提出について 業務改善
08.17	パート職員に対する研修 実習生受け入れ 職務権限 避難訓練
09.21	ターミナルケア 人事
10.19	人事 個人情報の取り扱い 理事会準備
11.16	実習生受け入れ 正職試験 成長支援制度
12.21	サーバー入れ替えの検討 環境整備 実習受け入れ日程説明 感染予防喚起
H28.01.18	経口維持加算 人事 事業計画 28年度予算
02.15	人事 介護ロボット特別支援制度の申請 職員の勤務体制 防災点検 事業計画 事故防止
03.22	成長支援制度 日本財団より車両寄贈の報告

〔2〕 職員会

施設運営に関する職員間の情報共有を行う。

(参加者) 全職員 (開催日) 毎月1週目 16:30～

(主な協議事項) 行事予定の連絡 各部署からの連絡事項

開催日	参加人数	協議項目
H27.04.01	23	辞令交付 業務の見直し 給与規程の見直し 緊急連絡先の提出
05.01	26	感染予防 人事異動 環境整備

06.01	23	委員会設置 環境整備 安全運転マナー喚起 理事会報告 人事 経費節減喚起 賞与と処遇改善交付金
07.01	22	人事異動 辞令交付 超過勤務の申告方法
08.03	23	実習生受け入れ 経費節減喚起 温度調節 キックオフ会議の開催説明 接遇 人事
09.02	19	人事異動 利用者の体調管理
10.02	22	安全確認喚起 情報伝達 ナイスアイデア賞発表 健康診断
11.03	19	感染予防喚起 芋たき会 年末調整の説明 正職員試験 人事
12.01	22	実習生受け入れ プライバシー保護 感染予防喚起 面談の実施
H28.01.05	20	年頭あいさつ 人事 ターミナルケア
02.01	20	換気の徹底 実習受け入れ 成長支援制度 人事
03.01	18	サーバー入れ替えの説明 防災委員会 キックオフ会議の説明 人事 成長支援制度の説明

〔3〕 広報委員会

広報紙「広寿」の編集発行を中心に、法人および事業所の情報発信に努めていく。

(参加者) 各部門で決定した職員

《振り返りと課題》

委員会では、紙面内容の工夫について話し合った。

27年度は、第32号(平成27年8月)を発行し、施設利用者や家族、地域住民、そして近隣施設等関係機関へ配布した。

今後さらに法人や事業所の取り組みに関心を持っていただけるよう、楽しく読める紙面づくりに努めていく。



ホームページやブログを活用した情報発信

日常の様子をタイムリーに伝える手段として有効活用を努め、情報発信をしていく。

- 広寿会ホームページ

<http://www.koujukai-hirota.com/>

- ブログ 「ほのぼの♪ひろた日記」
「たちばな便り じゃんけんぽん」



ブログ「ほのぼの♪ひろた日記」

《振り返りと課題》

更新が滞ってしまうことがあった。遠距離に暮らす家族に利用者の日常の様子を知ってもらえる有効な手段であることを再認識し、更新頻度を高めていく体制を整えたい。

〔4〕防災委員会



防災に関する知識を養い、その対策全般に関する検討および実行をする。

(参加者) 施設長、部長、防火管理者、居宅管理者、砥部デイ生活相談員、特養生活相談員、介護主任、看護主任、管理栄養士

開催日	協議事項
H27. 09. 02	防災マニュアル見直し、 防災訓練の内容検討
H28. 03. 22	消防検査結果報告、 防火安全対策研修会参加報告

① 避難訓練等の実施状況

消防署の立ち合い指導の下、初期消火や通報等の行動を再確認した。また、レスキューシートを使用した2階から1階への救助訓練も行った。

年月日	訓練の名称及び内容	
H27. 06. 23	特養ひろた・砥部デイ合同 第1回 消防防災訓練 (安全確保訓練、通報訓練、避難訓練、消火訓練) ※火災想定	
H27. 09. 30	特養ひろた・砥部デイ合同 第2回 消防防災訓練 (通報訓練、避難訓練、消火訓練) ※特養は夜間の火災想定	 レスキューシートを使用した救助訓練

② 平成27年度病院及び高齢者福祉施設防火安全対策研修会

○日時： 平成28年3月16日(水) 13:30～16:30

○場所： 砥部消防署

○参加職員： 防火管理者、居宅管理者、特養生活相談員

○研修内容： 講義…防火管理の重要性 消防設備の概要 避難誘導時の注意 対応行動等
実技…搬送方法 図上訓練

町内の医療施設、福祉施設から関係職員が参加。専門的立場からの指導・助言、そして具体的な事例検討があり、防災対策を考える良い機会となった。

〔5〕給食委員会

「食＝命」をテーマに、より良い食の提供を施設職員、厨房委託業者職員共に取り組む。
 (参加者) 委託業者、施設長、部長、特養生活相談員、砥部デイ生活相談員、管理栄養士
 (主な協議事項) 利用者の食事摂取状況や料理の味付け、献立内容等

開催日	協議項目	
	特養ひろた	砥部町デイサービスセンター
H27. 04. 21	日々の食事の指摘 感謝祭の感想、反省 行事食の計画	日々の食事の指摘 感謝祭の感想
05. 19	日々の食事の指摘	日々の食事の感想
06. 16	日々の食事の指摘 行事食の計画 生魚使用の検討	日々の食事の指摘
07. 14	日々の食事の指摘 行事食の計画 生魚使用について	日々の食事の感想
08. 18	日々の食事の指摘 祝い膳の計画	日々の食事の感想
09. 18	日々の食事の指摘 行事食の計画、反省	日々の食事の感想、指摘
10. 26	日々の食事の指摘 行事食の計画 メニューについての提案	日々の食事の感想
11. 26	日々の食事、行事食の感想、指摘 行事食の計画	日々の食事、行事食の感想
12. 14	日々の食事の感想、指摘 行事食の計画	日々の食事の感想
H28. 01. 18	日々の食事の感想 感謝祭について	日々の食事の感想
02. 15	日々の食事の感想 感謝祭について 調理開始時間の相談	日々の食事の感想、相談
03. 15	日々の食事の指摘 祝い膳の計画 来年度の事業計画について	日々の食事、祝い膳の感想

行事食

【施設部門】

月	日	行事	献立内容
4	19	開園 14 周年記念 感謝祭	散らし寿司・天ぷら (さつま芋・ しいたけ)・焼きそば うどん・やきとり・デザート
5	22	祝い膳	穴子巻き寿司・天ぷら盛り合わせ (かぼちゃ・えび・ししと う・人参) 豚の角煮・オクラの和え物・筍の煮物・すまし汁・ プリンアラモード



6	23	祝 104 歳 デザート バイキング	104 歳特大ケーキ・ロールケーキ (プレーン・チョコ) チーズケーキ・シフォンケーキ・ガトーショコラ モンブラン・アップルパイ フルーツゼリー・オレンジゼリー ムース (抹茶・いちご) 水ようかん水まんじゅう	
7	27	手打ちうどん	うどん・おにぎり・天ぷら・とろろ芋・ごまプリン	
8	6	そうめん流し	そうめん・おにぎり・鶏の唐揚げ・だし巻玉子・枝豆 スイカ・ぶどう	
9	21	敬老の日祝い膳	巻き寿司・天ぷら盛り合わせ・きゅうりとミョウガの和え物 かぼちゃの煮物・すまし汁・チョコムース	
10	2	行事食	秋刀魚の炭火焼き・おにぎり・芋の天ぷら・切干大根の煮付 だし巻玉子・ほうれん草の和え物・梨	
11	22	家族会	芋たき・おにぎり・天ぷら盛り合わせ・フルーツ盛り合わせ	
	24	シダックス 11 周年記念	回転寿司 (マグロ・ハマチ・サーモン エビ・玉子・穴子・いなり寿司)	
12	24	おやつ作り	クリスマスケーキ	
	25	行事食	手作りパン・ローストビーフ・アスパラのドレッシング和え パンプキンポタージュ・いちごのムース	
	28	餅つき	餅バイキング・炊き合わせ・和え物・ごまプリン	
1	1	お節料理	巻き寿司・刺身 (ハマチ・マグロ)・あんこうの唐揚げ くわい・八幡巻き・数の子・黒豆・昆布巻き・なます ゆずようかん・すまし汁	
3	3	祝い膳	海鮮散らし寿司・鶏肉のグリル・筍の天ぷら・南瓜の煮付 キャベツの和え物・うぐいす豆・すまし汁・抹茶ムース	

【在宅部門】

月	日	行事	献立内容
4	15	おやつ作り	いちご大福
5	1	食事作り	筍ご飯、筍の天ぷら
	22	祝い膳	穴子巻き寿司・天ぷら盛り合わせ (かぼちゃ・えび・人参 ししとう)・豚の角煮・オクラの和え物・筍の煮物・すまし汁 プリンアラモード
6	2	おやつ作り	梅シロップ・梅ジャム作り
	18	おやつ作り	わらび餅

7	3	食事作り	たこ飯・じゃが芋の煮付
	22	誕生会	ケーキ
	27	手打ちうどん	うどん・おにぎり・天ぷら・とろろ芋・ごまプリン
8	7	そうめん流し	そうめん・おにぎり・魚の磯辺揚げ・サラダ フルーツみつ豆
	13	食事作り	夏野菜カレー
9	15	おやつ作り	おはぎ
	21	敬老の日祝い膳	巻き寿司・天ぷら盛り合わせ・きゅうりとミョウガの和え物 かぼちやの煮物・すまし汁・チョコムース
	25	おやつ作り	里芋豆乳アイス
10	2	行事食	秋刀魚の炭火焼き・おにぎり・芋の天ぷら・切干大根の煮付 だし巻玉子・ほうれん草の和え物・梨
	19	食事作り	栗ご飯
11	25	シダックス 11周年記念	回転寿司(マグロ・ハマチ・玉子・穴子・土佐巻き いなり寿司)
12	14	忘年会	寄せ鍋・トマト鍋
	17	忘年会	寄せ鍋・カレー鍋
	23	おやつ作り	クリスマスケーキ作り
1	21	おやつ作り	いちご大福
2	5	おやつ作り	いちご大福
3	2	おやつ作り	豆いり
	3	祝い膳	海鮮散らし寿司・鶏肉のグリル・筍の天ぷら・南瓜の煮付 キャベツの和え物・うぐいす豆・すまし汁・抹茶ムース
	30	誕生会	ケーキ作り

《振り返りと課題》

27年度は誤嚥の危険の高い刻み食を廃止し、ソフト食へ移行した。ソフト食は素材を生かした調理法で、色や形を素材そのままの状態を提供できるように工夫を凝らしている。さらにソフト食の質の向上を目指し、厨房と連携しながら進めていきたい。



★特養ひろたのソフト食メニュー★

蒸し鶏の野菜あんかけ(写真左)

具材の鶏肉、人参、絹さやをそれぞれソフト食に加工。
野菜は味付けする前にミキサーにかけることで、色鮮やかに仕上げる事が可能。

五目ラーメン(写真右)

人参、ねぎ、もやし、豚肉のほか、麺もソフト食。
麺はモンブランの絞り口を使用して、見た目も工夫した。

〔6〕成長支援制度導入準備会議

介護報酬改定や競争激化等による減収、そして職員確保の困難さの増大など、法人を取り巻く環境がより不透明さを増してきた中、安定した経営や人材育成の柱として、賃金・評価・育成を包括した「成長支援制度」の構築を推進していく。

月日	内容
H27. 04. 03	成長支援制度導入検討協議（担当者レベル事前検討）
04. 22	成長支援制度設計説明会（理事・監事対象）
05. 29	設計作業スケジュール確認
06. 11	プロジェクト会議（第1回） 現状分析・アンケート検討ほか 主任級職員個別ヒアリング（第1回-1）
06. 15	職員アンケート配付 仕事調べ（各担当へ依頼）
06. 18	主任級職員個別ヒアリング（第1回-2）
07. 01	全職員アンケート・各担当仕事調べ
07. 24	プロジェクト会議（第2回） 等級フレーム及び職務権限表の検討ほか
08. 14	プロジェクト会議（第3回） 行動基準・人件費水準の検討ほか
08. 23	キックオフ会議 第1回（職員全員への成長支援制度導入検討説明）
08. 24	キックオフ会議 第2回（職員全員への成長支援制度導入検討説明）
08. 29	キックオフ会議 第3回（職員全員への成長支援制度導入検討説明）
09. 08	職務権限アンケート
09. 21	管理者会議 第1回（主任級職員による意見交換）
10. 02	プロジェクト会議（第4回） 賃金表・賞与支給ルールほか
10. 19	管理者会議 第2回
10. 26	プロジェクト会議（第5回） 正職員賃金比較、等級別行動基準ほか
11. 13	プロジェクト会議（第6回） 準職員賃金、整備関係助成金ほか
11. 18	プロジェクト会議（第7回） 基本給水準及び各種手当の再検討ほか
12. 03	プロジェクト会議（第8回） 等級フレーム等修正、手当及び賞与シミュレーション
12. 14	プロジェクト会議（第9回） 賞与ポイント修正
12. 20	第1回 企画・財務担当理事会
12. 28	主任級職員個別ヒアリング（第2回-1）
H28. 01. 04	プロジェクト会議（第10回） 企画・財務担当理事会意見による細部の確認及び修正 主任級職員個別ヒアリング（第2回-2）
01. 07	第2回 企画・財務担当理事会
01. 18	管理者会議 第2回（給与制度改定案概要説明）
01. 28	第3回 企画・財務担当理事会（給与規程改正案検討ほか）

02.01	管理者会議 第3回（給与規程改正案検討）
02.17	プロジェクト会議（第11回） 準職員通勤手当検討ほか
02.26	新給与規程承認（第4回評議員会・第5回理事会）
03.01	制度概要全体説明会（平成28年3月職員会）
03.04	プロジェクト会議（第12回） スキルチェック確認表、職員説明会打合せほか
03.08	調整手当発生予定者に対する個別説明
03.12	職員全体説明会 第1回（成長支援制度内容説明）
03.16	職員全体説明会 第2回（成長支援制度内容説明）
03.17	職員全体説明会 第3回（成長支援制度内容説明）

5. 研 修 等

〔1〕施設実習等受入状況

期間	活動内容	団体及び個人名	人数
H27.08.06～ 09.02	社会福祉施設援助技術現場実習	聖カタリナ大学	2
H28.02.15	施設訪問研修	双海夕なぎ荘	4
02.18～ 03.09	社会福祉施設援助技術現場実習	聖カタリナ大学	2

〔2〕施設内研修

開催日	研修名	担当者名
H27.04.01	倫理及び法令遵守	松下ひとみ
05.22 05.28	ターミナル	西岡真由美
06.01	食中毒	森岡真理
07.01	排泄	太陽化学 青山信彦氏 (外部講師)
07.08 07.10	嚥下のメカニズム	富岡享 藤岡早苗

07.16	食中毒	森岡真理
07.20	人事労働管理	社会保険労務士 成川献次氏 (外部講師)
07.28	口腔ケア	歯科衛生士 松野小夜子氏 (外部講師)
08.26 08.28	摂食ケア	森岡真理
09.02	身体拘束・虐待防止	二宮幸栄
09.30 10.04	ターミナルケア	上谷千代
11.03	感染予防	上谷千代
11.20 11.21	ケアプラン	原田賢一
11.04	感染予防	上谷千代
11.24 11.26	認知症ケア	二宮幸栄
12.23 12.28	トランスファー	富岡享
H28.01.26 01.28	褥瘡ケア	藤岡早苗
02.25 02.29	事故防止	門田佑介
03.01	高齢者施設における人権	砥部町教育委員会 渡部智摩子氏 (外部講師)
03.18 03.24	緊急時の対応	上谷千代



皆様と歩み続けて
15周年を迎えることができました。
今後とも
社会福祉法人 広寿会を
宜しくお願い致します。